

2026 年 2 月 9 日

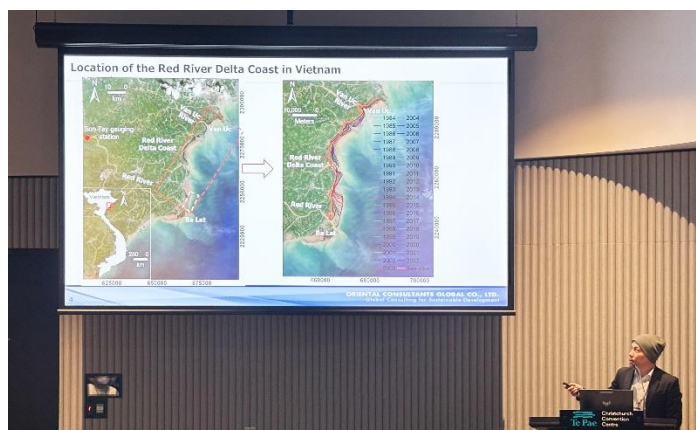
各 位

会 社 名 株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス
代表者名 代表取締役社長 野 崎 秀 則
(東証スタンダード市場・コード番号 2 4 9 8)
問合せ先 取締役統括本部長 橘 義 規
TEL 0 3 - 6 3 1 1 - 6 6 4 1

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル 港湾部 Dr. Ngyen Hao Quang 第 11 回国際地形学会議 (ICG2026) に登壇

当社グループの事業会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：米澤栄二）総合開発事業部 港湾部 Dr. Ngyen Hao Quang が、2026 年 2 月 2 日～2 月 6 日にニュージーランド クライストチャーチ市のテ・パエ・クライストチャーチ・コンベンションセンターで開催された、第 11 回国際地形学会議 (IAG International Conference on Geomorphology: ICG2026) に登壇しました。

【関連リンク】[第 11 回国際地形学会議 \(ICG2026\) 公式サイト](#)



国際地形学会議(ICG)は国際地形学会 (International Association of Geomorphologists (IAG/AIG)) が主催する地形学分野最大規模の国際会議で、4 年に 1 度開催されます。会議では、地形学における理論、手法、応用に関する最新の研究成果を共有・議論するほか、現地の地形を観察するフィールドトリップが行われるのが特徴です。

Quang は「Mangrove forests, a Nature-Based Solution for Enhancing Resilience to Anthropogenic Impacts in the Red River Delta Coast (Vietnam)」と題して、ベトナム・紅河デルタ沿岸のマングローブ林が「自然に基づく解決策 (Nature-Based Solution)」としてどのように機能しているかについての研究発表を行いました。Quang は本研究で、紅河水系でのダム建設などによる土砂供給不足によって、本来であれば侵食が進むはずだった沿岸域において、マングローブの植林活動がその傾向を逆転させ、沿岸を拡大・安定化させることに成功したことを示し、マングローブ植林が沿岸の回復力 (レジリエンス) をいかに高めたかを定量的に示しました。

同社は国際会議への参加を通じて、地形や河川水系保全の技術向上に貢献するとともに、若手技術者の技術力向上や交流を支援します。



以 上

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル
担当 広報室 富田早季
TEL: 03-6311-7570 FAX: 03-6311-8020
URL: <https://ocglobal.jp/ja/>